

活動内容

〈題〉 こころの危機は子も親もなりたい自分を見つけることで乗り越えることができる

学級名 中野小学校家庭教育学級

学級担当者 田鎖 恵

1 学級の組織ならびに学習のねらい及び重点

- ・ 構成員 中野小学校 PTA 会員
- ・ 学級の運営組織 中野小学校 PTA 教養部員
- ・ 学習のねらい、重点 PTA 会員相互の親睦を深め、子育てや日常生活に役立つ教養を習得して、実り多い学校生活にするため

2 学習計画と活動の状況

回	日時	講 話 題	講 師 (職・氏名)	参加人数
1	令和5年 10月6日(金) 10時から 11時30分	こころの危機をどう乗り越えるか ～より良い人生を送るために～	心理臨床オフィスすがわら代表、 スクールカウンセラー、臨床心理士 菅原 憲 先生	17人(男1、女16)
		内 容 正しいとされている子育てに固執しすぎず、またマイナス事象に捉えがちなことも自立の準備や自身と向き合う勇氣ある言動と捉え、【なりたい自分】に子も親もなろうという考え方を学んだ。	感 想 等 菅原先生の優しく柔らかい声でより心に残る時間を過ごせた。不登校や鬱などネガティブな印象でしかなかったが、自立の準備であること、また正しい子育てや親の接し方が子供には大きな影響があると思っていたが、親でも様々な感情をぶつけ合ってもいいんだと感じ、今までの自分を認められた気がしてありがたかった等。	
2	日 時	講 話 題	講 師 (職・氏名)	参加人数
		内 容	感 想 等	

3 成果及び今後の課題

(1) 成果・コロナ禍にあって工夫したこと

普段露呈しないこころの悩みを少人数だったからこそ、みんなで話し、励まし、共有し合える良い空間を講師の先生が作ってくださり、非常に実り多い時間となった。コロナ対策は特に意識しなかった。

(2) 今後の課題

- ・ より良い内容だったからこそ、今後の参加人数を増やすために周知方法を変える必要性を感じた

(3) その他 今後の「学びのつどい」の在り方に関すること等

- ・ 意見なし